# 令和元年度　第 9 回教育委員会定例会

議決事項

| 件　　名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|---|---|---|---|
| 議案第18号<br>　令和２年度垂水市一般会計当初予算要求について | 　令和元年度当初予算案の作成について、教育委員会の意見を申し出ようとするものである。 | 特記事項なし | 承　　認 |
| 議案第19号<br>　垂水市教育支援委員会答申について | 　垂水市教育支援委員会の答申を受けて、児童生徒の望ましい措置を決定しようとするものである。 | 特記事項なし | 承　　認 |

令和元年度　第 9 回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出　　席　　者 | |
|---|---|---|
| 令和元年12月９日（月）<br><br>午後２時００分<br>↓<br>午後３時５５分<br><br>第２研修室 | 教　育　長　坂 元　裕 人<br>教 育 委 員　田 原　正 人<br>教 育 委 員　葛 迫　幸 平<br>教 育 委 員　田之上 厚 美<br>教 育 委 員　福 里　由 加 | 教育総務課長　紺 屋 昭 男<br>学校教育課長　明 石 浩 久<br>社会教育課長　野 嶋 正 人<br>国体推進課長　米 田 昭 嗣 |

# 会　議　要　旨

1　開　会

定刻、定足数に達しており、令和元年度第９回教育委員会定例会を開会した。
議案第18号及び議案第19号は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2　令和元年度第８回定例会会議録の承認

承認

3　議　事

議案第 18 号　令和２年度垂水市一般会計当初予算要求について
議案第 19 号　垂水市教育支援委員会答申について

4　その他

なし

5　委員並びに教育長及び課長報告

6　閉　会

議事内容等

| | |
|---|---|
| ３　議　事 | 議案第 18 号<br>令和２年度垂水市一般会計当初予算要求について<br>（非公開）<br><br>議案第 19 号<br>垂水市教育支援委員会答申について<br>（非公開） |
| ４　その他 | なし |
| ５　委員並びに教育長及び課長報告 | 委員並びに教育長及び課長報告 |
| 教育長 | 委員並びに教育長及び課長の報告に入る。 |
| 田原委員 | １．「垂水市小･中学校合同音楽会について」<br>11月14日(木)、牛根小の力強い太鼓演奏に始まり、垂水小の校長先生、牛根小の校長先生の感動的な歌で終わるという、印象に残る音楽会であった。<br>各学校、自慢の演奏や音楽に振りをつけて歌うなど、あまり緊張せず表現する喜びをいっぱいアピールしていたのがとてもよかった。<br>また、講師の先生がすべての学校の演奏について、よさをわかりやすく的確に評価してくださっていたことに感心させられた。<br><br>２．「教育懇談会について」<br>11月28日(木)、教育懇談会が開催され、それぞれの学校の校長先生方が、わが校の自慢をてんこ盛りで表現してくださっていた。<br>各学校とも、地域の特性を生かした体験活動がいっぱいなされていることに感心した。それを集約したのが、中学校の総合的な学習の時間で、生徒たちの成長した姿が伺えた。<br><br>３．「松ケ崎小の『算数科』の研究公開について」<br>11月29日(金)、松ケ崎小の算数科の研究公開に参加した。３年生３人、４年生１人の授業を、担任の先生が完璧な時間配分で授業をしていくのに感心した。<br>児童の考えをうまく引き出して、そう考えた根拠を追求するとともに、一つだけの解き方ではなく、ヒントを与えながら、更に新たな解き方を考えるように誘導されるところなど、よく工夫された指導過程だと思った。 |

| | |
|---|---|
| 葛迫委員 | １．「第６回　和田英作・和田香苗記念絵画コンクールについて」<br>　11月24日(日)、和田英作・和田香苗記念絵画コンクールの絵画の作品搬入日があった。一般部門について、前回５回コンクールまでは搬入場所を「和田画伯使用の画室」で受付を行っていたが、強い雨が降っているということで急遽市民館ロビーで受付を行った。市職員の計らいでスムーズに受付場所を変更できたことや、玄関入口に屋根があったことで、雨によって作品が濡れなかったことが出品者にとってよかったと思った。<br>　市の担当者が今年度から初めて「和田コン」に関わるということで、９時の作品搬入前において、作業について注意することなどを確認しながら作業を行った。<br>　雨が強かったせいか、例年午前中に出品者が殺到していたが、雨が上がり始めた正午前から増え始め、忙しくなった。<br>　今年の出品点数が102点で、うち県外からの出品は10点ほどで、昨年より８点少なかった。原因としては、高校生の出品者がいなかったことが考えられ、反省することだった。<br><br>　11月29日(金)は作品審査を行い、一般部門については、午前中に審査し受賞者まで決め、ジュニアの部については午後から審査する形をとった。そのことは、一般部門の通知を遅らせないことにあり、事務職員一人を午後から通知作業に回せたことで、12月２日(月)の発表日までには出品者全員に通知が行き渡ったようであった。昨年の反省を踏まえ、通知作業を早めに行い、審査当日に発送できたことがよかった。一般部門の審査は正午を過ぎてしまったが、全国公募ということで作品の質がとても高く、県内では20号という作品のコンクールでは、垂水の「和田コン」における質の高さは、県内美術愛好家の中で周知されていて、喜ばしいことである。<br>　今回の大賞（和田栄作賞）には、滋賀県からの出品者の「黙」という作品が選ばれた。ジュニア部門の審査は午後２時ごろから始め、作品を見たときに感じたことは、コンクールに出品するために急遽描かれた作品が多く、時間足らずと思われる作品が見られた。ということである。<br>　来年度からは、彫塑や版画、造形といった学校で製作した作品も出品してもらうことができたらいいのではないかと思う半面、図工や美術の時間に制作した作品を、教師が採点したあとを「和田コン」の審査員が採点することに違和感を思うため、何かよい方法があればと考えている。<br>　12月６日(金)から作品展示が始まり、一般部門88点、審査員１点の計89点を市民館大ホールに展示し、ジュニア部門30点を文化会館ロビーに展示した。<br><br>　12月８日(日)に表彰式を行い、一般部門大賞受賞者は出席できなくて残念な思いをしたが、２名の審査員、本コンクールにご寄付いただいた八木氏、井口氏の両名の関係者や後援いただいた垂水市文化協会会長を来賓としてお越しいただき、にぎやかな表彰式になったのではないかと思っている。最終日の15日(日)は、ギャラリートーク終了後に作品搬出となり、また、来年１月から３月まで、本コンクールの優秀作品の中から30点ほどを選抜し「垂水街角美術館」で展示する予定である。 |

| | |
|---|---|
| 田之上委員 | １．「垂水市小･中学校合同音楽会について」<br>　11月14日(木)の小･中合同音楽祭は、どの学校も学校規模や日常の教育活動であったり、指導される先生方であったり、それぞれに応じた素敵で、「みんなが音楽を楽しんでいる」というような発表であったと思う。<br>　今年も中学生の素晴らしい合唱であったが、それを小学生も聞くことで「自分たちも中学生になったらそうありたい。」と強く思ったのではないかと思った。音楽会終了後、講師の先生が講評を１校ずつされる際に学校名を読み上げると、「はい。」という返事や手を挙げて「ここです。」と返してくれ、中学生までもが小学生と同じように返してくれる姿が、とても気持ちがよいものであった。<br><br>２．「松ケ崎小『算数科』の研究公開について」<br>　学校訪問の授業参観では、10分程度しか見る機会はないが、１時間通して見せていただいた。<br>　３･４年生の複式のため、２学年を先生が行き来しながらの授業で、先生が４年生を授業しているとき、３年生は先生の代わりとして、ガイド役が子どもたち同士で授業を進めていくやり方を非常に興味深く見せてもらった。また、ガイド役が進め方に困ったり、つまずいたりしていると他の児童が「こうするんだよ」と助け舟を出して、協力する姿に「いいことだなあ」、複式学級は先生方がいろいろと工夫されて授業をされていること改めて感じた。<br><br>３．「人権フェスタについて」<br>　人権フェスタにあわせて、講演会に参加した。参加者が少なくて少し寂しさを感じた。<br>　講師の先生のお話を聞いていて、本当に「生きていること自体がすばらしいことである。」ということを思うことであった。もっと多くの方々に聴いてほしいと思った。 |
| 福里委員 | １．「小･中合同音楽会や学習発表会について」<br>　私自身、音楽会を見にいけないため、母に見てきてもらうこととした。<br>　母は、「保護者の方々は自分の子どもの姿を見終わったら、すぐに帰ってしまい、客席はがらがらだったけれど、すごく音楽会はよかったよ。」と話していた。<br>　音楽会を「隔年に開催したらどうか。」という意見もあるようだが、出場した息子が「最後に校長先生と知らないおじちゃんが一緒に歌っていて、それがとても上手でよかった。」と言ってすごく喜んでいた。<br>　音楽会での各学校の様子も、息子が話をしてくれて「子どもにとっては、貴重なよい経験だったのだ。」と思うことだった。<br>　音楽会に参加する４年生80名をまとめるために、先生方は発表する歌声をＣＤに取り込んで、それを家で練習してくるように指導があり、そのＣＤの声を聞いたとき私自身すごく感動した。何か目標に向かって頑張ることは子どもにとってよいことだと思った。もう少し観客の方が多くなればと思うことだった。 |

| | |
|---|---|
| | 垂水小学校の学習発表会も音楽発表会後に開催され、１年生の子どもも大丈夫だろうかと思っていたが、歌もすごく上手で他の学年も、昨年とは変わった内容となり、例年とは違う発表を見ることができて「とてもよかったなあ。」と思うことだった。<br>先生に学習発表会の感想を書いたが、先生からは「実際、担任たちが一番ひやひやしていて、子どもたちはすごく頑張りました。」とお聞きし、子どもたちも自信に繋がったのではないだろうかと思った。 |
| 教育長 | １．「小･中合同音楽祭や教育懇談会について」<br>小･中合同音楽会を始め、２学期の諸行事の目的や意義をしっかり教職員は持って、子どもたちの指導に当たる。そのことにより、子どもたちも、「しっかり理解し、目標を持って取り組むのだなあ」と教育委員の皆様の声を聞きながら思うことであった。そのような指導等を行うことによって、子どもたちが家庭に帰ったときに、家族に学校での出来事を伝えていくことで、親子の会話をよい方向へ導いてくれるのではと思うことだった。<br>先日開催された教育懇談会では、校長先生方の思いがすぐに伝わってきた。地域のよい資源をうまく使いながら、子どもたちのために、今できるベストの方策を考え、実践されているということで、教育委員の皆様方からは、「それぞれ学校の特色ある教育活動の価値付けをしていただいたのかな。」と思っている。そのことで、校長先生方も自信を持って「またこれから頑張っていこう。」という元気をもらえたのかなあと考えている。<br>校長先生方からは､「教育委員の皆様から温かい言葉などいただきありがたかった。」との声をいただいている。<br「子どもたちはがんばっていますよ。」と学校の校長の生の声を聞く機会は改めて貴重で素晴らしいことだと思う。そのことを受容的に受止めていただける教育委員の方々の言葉というのは、ありがたいものだと思うことであった。 |
| 教育総務課長<br>学校教育課長<br>社会教育課長<br>国体推進課長 | 11 月 12 日から 12 月 9 日までの主な行事等について報告。<br>併せて、１月 10 日までの予定についてお知らせした。 |
| ６　閉　会 | |